

下関市立大学広報

2001年10月1日 第35号

発行

下関市立大学広報委員会

山口県下関市大学町2-1-1

TEL 0832(52)0288

FAX 0832(52)8099

http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/

(題字 中山尊名誉教授)



「世界の厨房から」開催

西山 望

6月30日、私たち国際交流会ともだちの主催で、在学中の留学生の母国の料理等を通じて、国際交流を図るというイベント「世界の厨房から」を開催しました。

今回は、あげパンとおかゆ(中国)、チヂミ(韓国)、ゲーン・ベック(タイ)、メネメン(トルコ)、オージーバーガー(オーストラリア)、わらびもち(日本)の6カ国の料理を用意し、会場には一般・学生78名、児童15名の来場者と、留学生18名、サークルメンバー56人が集まり、熱気につつまれていました。

舞台では、下関朝鮮初中級学校やよさこいダンス同好会による踊りの披露や、オーストラリア出身の留学生が歌やマカレナダンスを発表しました。マカレナダンスでは、来



場者やメンバーも舞台上がり一緒に踊って会を盛り上げました。

他にも、言語講座や国の紹介をまとめた展示なども行いました。

来場者からは、料理はおいしかった、留学生の頑張りがよかった、楽しかった、来年もまた来たい、いろいろな国の文化に接することができたという声が聞かれました。

こういった活動で、私たちの目標である「留学生と日本人学生だけでなく、市民の人々にまで交流の輪が広がり、その中でお互いの異国の文化や習慣を理解していくこと」の実現に、少しでも近づいていると実感しています。

11月4日の学祭では、他大学の留学生にも参加してもらい、「日本語弁論大会」を行います。普段聞くことのできない留学生の本音をスピーチしていただきます。ぜひ、ご来場ください。(国際商学科3年)

来年度より、基礎演習を導入—カリキュラム改革—

本学は、1995年に大学設置基準の改訂を受けて、大幅なカリキュラム改革を実施したが、それから既に6年が経過した。今回、改めて現行カリキュラムを見直し、その不備を改善するとともに、学生の主体的学習意欲を養うために、来年度より、次のようなカリキュラム改革を行うことになった。

- (1) 導入教育の一環として、1年次春学期に「基礎演習」(2単位)を設ける。入学生全員がどれかの演習に所属し、学習技能やコミュニケーション能力などを身につける。
- (2) 2年次生を対象に、学生の共同自主研究に対して「自発学習科目」の履修とみなして、単位認定する(2単位、自主選択単位)。原則として5名以内のグループによる共同研究であるが、事情によっては単独研究でも認めることがある。
- (3) 外国語教育について、IJKの配当年次をなくすとともに、英語に関して1年次に上級クラスを設ける。
- (4) 情報教育について、現行の「コンピュータ入門」を「コンピュータ実習Ⅰ」に改編するとともに、新たに「コンピュータ実習Ⅱ」を設け、あわせて「情報・数理」の必要単位数を増やす。
- (5) 専門教育について「現代経済学入門」(経済学科、

2単位)など、いくつかの科目を新設するほか、一部科目の配当年次・学期を変更する。

(6) 専門演習の担当者を拡充し、演習テーマの多様化をはかるとともに、1ゼミあたりの学生数を減らす、など。

(7) オフィスアワーの制度を設け、学生の質問や相談に応じるため、全教員が時間を定めて研究室を開放する。

以上が改革の骨子であり、新カリキュラムは基本的には来年度の新入生から適用されるが、(2)(5)(6)(7)などについては、在学生にも適用されることになる。

1年	2年	3年	4年
教 養 教 育			
基 礎 教 育			
		専 門 コ ー ス	
専 門 基 礎			
専 門 関 連			
基礎演習	教養演習・自主研究	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅱ

2002年度入試の概要

◆推薦入学

○全国推薦

2001年11月17日(土)小論文

○地域推薦

2001年11月17日(土)小論文

◆特別選抜

○帰国子女特別選抜

2001年11月17日(土)小論文(日本語による)/面接

○社会人特別選抜

2001年11月17日(土)小論文/面接

○中国引揚者等子女特別選抜

2002年1月26日(土)小論文(日本語による)/面接

○外国人留学生

2002年1月26日(土)小論文(日本語による)/面接

◆一般選抜

○前期日程

2002年2月25日(月) 下関・大阪

前期日程試験の実施教科・科目及び配点

学科	大学入試センター試験	個別学力検査	配点 合計
経済 学 科	・国語(「国語Ⅰ・国語Ⅱ」のみ)、 地理歴史、公民、数学、理科、外国 語から2科目(2教科)	小論文	800点
	【科目の採用の仕方と配点】 ・すべての科目を200点満点に換算する。 1.最も得点の高い科目をさらに300点 満点に換算し採用する。 2.次に得点の高い科目を200点満点の まま採用する。 300点+200点	300点	
国 際 商 学 科	・外国語(必須) ・国語(「国語Ⅰ・国語Ⅱ」のみ)、 地理歴史、公民、数学、理科から 1科目	小論文	800点
	【科目の採用の仕方と配点】 1.外国語を300点満点に換算し採用する。 2.外国語以外のすべての科目を200点 満点に換算し、最も得点の高い科目 を採用する。 300点(外国語)+200点	300点	

○公立大学中期日程(旧C日程)

2002年3月8日(金) 下関・大阪・福岡

公立大学中期日程試験の実施教科・科目及び配点

学科	大学入試センター試験	個別学力検査	配点 合計
経済 学 科	・国語(「国語Ⅰ・国語Ⅱ」のみ)、 地理歴史、公民、数学、理科、外国 語から3科目(3教科)	外国語(英語Ⅰ・ 英語Ⅱ・リ ーディング・ ライティング)	800点
	【科目の採用の仕方と配点】 ・すべての科目を200点満点に換算し、 得点の高い順に3科目(3教科)を 採用する。200点×3	200点	
国 際 商 学 科	・国語(「国語Ⅰ・国語Ⅱ」のみ)、 地理歴史、公民、数学、理科、外国 語から3科目(3教科) ※ただし、この3教科の中に数学か外 国語のどちらかを含むこと。	外国語(英語Ⅰ・ 英語Ⅱ・リ ーディング・ ライティング)	800点
	【科目の採用の仕方と配点】 ・すべての科目を200点満点に換算する。 1.数学か外国語のうち得点の高い方 の科目を採用する。 2.1.で採用した科目以外の科目のうち得点の高い 順に2科目(2教科)を採用する。200点×3	200点	

※前期日程、公立大学中期日程(旧C日程)とも「国語Ⅰ」は選択科目から除く。地理歴史と公民からは1科目のみ。

◆編 入 学

2001年11月17日(土)小論文/面接

オープンキャンパス2001開催



夏休み中の8月11日(土)、恒例のオープンキャンパスが開催され、遠くは鹿児島、三重をはじめ県内外から、高校生、保護者、学校関係者など、これまで最多の229名の参加があった。特に保護者の増加が印象的であった。

233番教室の全体説明会では、下山学長の挨拶に続いて、米田教務部長による本学の概要、西田入試委員長による選抜の概要と小論文対策、金子入試副委員長による就職状況の説明とともに、中央委員会の井上強太君による在学生挨拶があった。

本学学生が案内役を務める学内施設見学、ティータイムに続いて、パソコン実習と模擬海外研修が行われた。

学術センターのコンピュータ実習室を使用して、大内助教授と藪内講師がパソコン実習を行い、模擬海外研修では、上倉助教授がアメリカ、山田助教授が中国、李常勳嘱託講師が韓国をそれぞれ担当した。

このオープンキャンパスの案内は、大学の紹介とともに、地域雑誌「九州ウォーカー」増刊号(角川書店)に見開き2ページにわたって掲載され、また、当日の様子は、『市政だより』として、後日テレビで放映された。

これに先立って、6月21日(木)には、例年通り、本学で地域推薦対象の入試説明会が開催され、23校から26名の進路指導担当者の出席があった。

大学院入試情報

*平成14年度入学試験(第一次)

大学院経済学研究科では、下記の要領で平成14年度入学試験(第一次)を実施する。

日 時 平成13年10月6日(土)午前9時より

募 集 経済社会システム専攻5名

国際ビジネスコミュニケーション専攻5名

選抜方法 一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜

なお今回より、研究指導科目が新たに5分野増加し、13分野となった。新規研究指導は以下の5分野である。
(世界経済史・経済地理・都市環境・地方自治法・国際コミュニケーション)

*特別選抜試験の新規導入

平成14年4月入学生を対象に、新たに下記の形態による入試方法が導入されることとなった。これは、出身大学や所属自治体・企業の推薦を受けた場合、書類選考ないし面接により可否を判定するというものである。

- ①交流・協定校特別選抜(青島大・東義大・グリフィス大・クィーンズランド大・ボアジチ大卒業生対象)
- ②派遣社会人特別選抜(地方自治体・企業よりの推薦)

大学院入試説明会・研究発表会

8月4日(土)大学院26教室において、入試説明会及び大学院生による研究発表会が開催され、暑い最中に関わらず約30名余の参加者があった。その内容は以下のとおりである。

【入試説明会】

本学の大学院概要、募集要項、カリキュラム等々の説明が配布資料に沿って行われた。その後、質疑に入ったが、「受験に向けてどのような準備をしたらいいの？」といった質問がなされた。これに対して大学院生が自身の経験から「どういうテーマを研究するかについてまず整理する必要があること、研究テーマに沿って教員を絞り込み、その先生の著書、論文を事前にチェックすれば自ずと受験の準備作業になる」という極めて適切な助言もあった。

【研究発表会】

6名の報告者、報告テーマを報告順に示すと以下のとおりである。

- ①鎌矢和人「ホテルにおける経営戦略と経営分析についての一考察」
- ②姜元錫「北東アジア自治体が主導する経済交流の可能性」
- ③篠原茂隆「近代中国における革命文学の成立と日本留学体験—魯迅・郭沫若を中心に—」
- ④玉中忍「貨幣流通からみた中世日本と中国に関する一考察」
- ⑤野中誠司「グローバル化時代の人材育成」
- ⑥宮田高「東アジアにおける地域経済圏形成の進展」

いずれも日頃の研究成果を発揮し、研究テーマにいかによりオリジナリティを出せばいいの、苦心の跡があり、参加者は各報告に熱心に聞き入っていた。報告1本につき報告時間20分、質疑10分というスケジュールで行われたが、活発にコメント及び質疑があり、終了予定時刻5時を大幅に超過する発表会となった。

《第18回市民大学》

◎語学・パソコン講座(下関市立大学にて)

○朝鮮語会話初級(定員40名、B講義棟236番教室)

9月19日～12月5日(12回)

毎週水曜日 18:30～20:00

講師:李亮(下関市立大学常勤嘱託講師)

○英会話中級(定員40名、B講義棟236番教室)

9月20日～12月13日(12回)

毎週木曜日 18:30～20:00

講師:ジェームス・ローレンソン

(下関市立大学常勤嘱託講師)

○中国語会話中級(定員40名、B講義棟236番教室)

9月17日～12月17日(12回)

毎週月曜日 18:30～20:00

講師:韓衛華(下関市立大学常勤嘱託講師)

○初心者のためのパソコン入門

(定員40名、B講義棟229番教室)

9月26日～11月21日(全8回)

毎週水曜日 18:30～20:00

講師:大内俊二(下関市立大学助教授)

◎連続テーマ講座:「歴史の潮流にあらわれる下関」

下関市立大学では毎年秋に公開講座として「市民大学」を行っており、本年は18回目にあたる。昨年は20世紀最後の年であり、「下関の20世紀を振り返る」をテーマに3回のシンポジウムを行った。本年は時代ごとに多彩な歴史を持つだけではなく、「綾羅木」、「長府」そして「唐戸付近」の現地見学を行うこととした。

講演時間:18:30～20:00

講演会場:下関市立大学 B講義棟 223教室

現地見学:毎土曜日 14:00～17:00(現地集合)

○第1週:先史時代～古代の下関

【講演】

11月12日(月)「響灘沿岸の弥生人」

講師:松下孝幸(土井ヶ浜人類学ミュージアム館長)

11月14日(水)「下関地域の考古学」

講師:伊東照雄(元下関市教育委員会文化課職員)

11月16日(金)「壇の浦と下関」

講師:水野直房(赤間神宮宮司)

【現地見学】

11月17日(土)「綾羅木郷台地遺跡を歩く」

講師:下関市立考古博物館学芸員

集合場所:考古博物館/集合時間 14:00

○第2週:中世～近世の下関

【講演】

11月19日(月)「長門国府」

講師:山村亜希(京都大学総合博物館助手)

11月21日(水)「毛利氏と長府藩」

講師:利岡俊昭(梅光学院大学教授)

11月22日(木)「近世下関の国際交流」

講師:前田博司(下関市立大学非常勤講師)

【現地見学】

11月24日(土)「城下町長府を歩く」

講師:下関市教育委員会文化課職員

集合場所:長府観光会館/集合時間 14:00

○第3週:近代の下関

【講演】

11月27日(火)「明治維新と下関」

講師:一坂太郎(東行記念館副館長)

11月28日(水)「日清戦争と下関」

講師:金子 肇(下関市立大学教授)

11月29日(木)「近代下関の国際交流」

講師:木村健二(下関市立大学教授)

【現地見学】

12月1日(土)「唐戸周辺を歩く」

講師:下関市教育委員会文化課職員

集合場所:市役所1階ロビー/集合時間 14:00

インターンシップ制度試行について

就職委員会委員長 川本 忠雄

インターンシップとは「就業体験学習」の事で、学生が一定期間、実社会で就業体験を行い、実践的な学習を通じて、コミュニケーション能力や社会認識・職業意識の向上を図るものである(基本的には無報酬)。本学でもこの制度の実施に向けて研究してきたが、この度、下関市役所産業経済部が本学学生を受入れることが決定し、本年度はまず試行として実施した(今年度は単位取得とは無関係)。

まず7月上旬、参加学生(実習志望書を提出)を募り、教職員が面接を行い、4名(3年生)を選出した。そして8月9日に、2時間半、就職委員会委員長、市大事務局長が事前講習を行った(本試行の意義、職場マナー、市役所の組織等)。8月20日—24日、各参加者は産業経済部の各セクション(観光振興課、農政課、水産課、卸売市場)に分かれて配属され実習を受けた。観光振興課の学生は馬関まつりの設営にも積極的に協力し、卸売市場の学生は早朝のセリの見学もした。

実習終了後、参加学生は詳細な報告書を提出し、学内の公開体験発表会(10月予定)に臨む。今後の予定は、本年度の試行を総括後、正式にインターンシップ委員会を発足させ、本制度が本格的に実施できるよう、条件を整備していくことになる。課題としては、本制度の意義づけ、学生の希望に適合した受け入れ先の拡充、参加者の拡大、単位の認定等がある。

◎初体験の感想(学生の体験発表レポートから抜粋整理)

○競りを視察し、財務も教わり、オープンしたばかりの開放的な唐戸市場にも出勤。卸売業の現状とその厳しさを知り、今後、卸売業はどうあるべきか、考えさせられた。

(卸売市場に行った 国際商学科3年 湯村良子)

○多くの事業施設を見て回り、酪農家を訪問し、転作面積の集計も行なった。生産者との信頼関係、市民のニーズに対応する柔軟性の必要、農業行政の目標や各人各様の世界観など多くを学んだ。

(農政課に行った 経済学科3年 佐伯光洋)

○稚魚放流イベントに参加、水産指導所や漁業組合を訪ね、統計資料の整理作業も行なった。事業企画一つにも、下関漁業の現状と位置、事業効果の予測など、広くて公平な視野が要求される。

(水産課に行った 経済学科3年 山田純子)

○海響館周辺や旧秋田商会ビルなどを訪ね、唐戸市場のチラシ作成と馬関まつりの準備を手伝う。民間協力の獲得、情報入手、状況判断、丁寧な対応など、サービスは地道な努力の積み重ねであることがわかった。

(観光振興課に行った 国際商学科3年 高橋宏行)



勤務中の佐伯君

私の教育・研究

森 幸弘(流通論)



私は商学的視点から、市場リスクの負担・転嫁関係を研究しており、市場リスク問題から流通経済事象の認識を再構成していくことに研究目標を設定しております。

現在の私の主たるリサーチ・インタレストとなっている「先物市場を媒体とした取引並びに取引制度」、さらには「企業経営におけるリスク管理」についての研究も、究極的な研究目標に向けての取り組みです。

昨年10月から本年3月はじめまで、上記の研究を推し進めるべくオーストラリアのクィーンズランド大学に留学させていただきました。留学中は、先生方のみならず、諸外国からの来訪者、学生等とも幅広い交流の機会をもつことができました。大学のご厚意により、図書館、研究室等の諸施設も幅広く利用させていただき、恵まれた研究生活を過ごさせていただきました。

教育面では、基本的な方針として、講義科目(流通論、リスクマネジメント論等)、並びに専門演習において、基礎理論の習得のみならず、常に現実の動きに目を向けてもらうように努めています。そのため、特に専門演習においては、毎週の研究報告以外に、相当な量の課題を与えています。ゼミの卒業生からの「課題の提出は苦しかったが、頑張ってきて本当によかった」との言葉が、私の講義並びにゼミ運営の大きな支えになっています。今年も、「鼻血が出るほど」勉強してもらおうと思っています。

産業文化研究所の共同研究

環境研究の成果まとめ、新たなプロジェクト始まる

附属産業文化研究所所長 吉津 直樹

1994年から継続的に行なわれている本学と北九州市立大学との共同研究の成果をとりまとめた報告書が刊行された。両大学からなる関門地域共同研究会は1999～2000年度は第4次プロジェクトとして「関門地域における環境保全への取り組み(2)」として取りまとめられ、報告会が7月27日、北九州国際会議場において開催された。また、この共同研究の成果は学生に対しても本学の講義「関門地域論」として活用されている。

報告書の内容は以下の通りである。

- I 松永裕己・池田 潔(北九州市立大)「北九州市における産業集積と環境産業」
- II 吉津直樹(下関市立大)「下関市における地場企業の環境ビジネス」
- III 濱田英嗣(下関市立大)「下関・北九州市水産業における環境問題の対応と課題」
- IV 垣迫裕俊(北九州市環境局)・宗近孝憲(山口経済研究所)「関門地域の事業所における環境配慮行動意識調査」
- V 三宅博之(北九州市立大)・加来和典(下関市立大)・田中裕美子(下関市立大)「北九州市と下関市の小学校6年生・保護者にみる環境意識と環境保全行動に関する実態調査」
- VI 尹・明憲(北九州市立大)「北九州市の環境国際協力の展開」
- VII 坂本結二(下関市立大)「関門地域における快適環境形成の取り組みについて」

なお、2000～2001年度は「関門地域の国際交流」と「関門地域の金融研究」の二つのテーマを設定し、それぞれ研究班を組織して研究がスタートしている。

イギリス語学研修を終えて

勇次亜由美



7月11日から約4週間、私たち総勢14名は、イギリスの海軍・海運の中心地として栄えたグリニッチで英語研修を行いました。そこはロンドン中心部から南東へ電車で約15分と非常に利便性に優れた都市で、学生達はそれぞれ一家庭に一人ずつホームステイをしながら語学学校に通いました。

今回の研修でとてもよかったことは、ロンドンが世界一の多民族都市であるために、語学学校も国際色豊かで、多国籍の人々と触れ合う事により、私たちの意識が世界へ広がったことです。例えば、ステイ先にロシア人やイタリア人などのハウスメイトがいる学生や、私のホストマザーはインド人だったので、ヒンドゥー教によるインドの精神文化にまで触れることが出来るという極めて貴重な体験ができました。

また、残り2週間の自由行動はロンドン名物の一つである「ライオンキング」などのミュージカルを堪能した学生や、スコットランドの首都、エディンバラまで行き、そこから湖水地方で雄大な景観を満喫し、ビートルズ発祥の地であるリバプールまで行った学生もいました。今回の研修はとても短いものでしたが、日本とは違った体験や刺激によって、イギリスでしか味わえない貴重で充実した日々を過ごせました。

最後に、家族やこの研修を支えて下さったすべての方々にお礼を申し上げたいと思います。(国際商学科2年)

青島短期留学を終えて

岡 雅之



7月21日から8月8日まで青島大学に留学しました。中国に到着してまず感じたのは「空が広い」ということで、「大陸なのだ」という印象を感じさせました。

その夜、青島大学の先生方が開いてくれた歓迎会では熱烈的な歓迎を受けました。中国の人達はとても温かく、気さくな国際人でした。

翌日には、朝8:00～12:00まで授業を午後には青島市内へと足を運びました。そこで目に焼き付いたのは、高層ビルや新しい建築物が次々建てられる中、舗装されていない道路が同居するというギャップでした。

7月30日には農村での生活を体験しました。そこでも私達は熱烈的な歓迎を受けました。初対面の私達に対して、心を尽くして笑顔で迎えてくれた事は120パーセントの感動を覚えました。

私達はまた、オリンピック開催決定で賑わう北京も訪れました。そこでは開催のためのインフラ整備や景観の確保を目的とする事業も行われ、「清潔な街づくり」というイメージがありました。

しかし私達が今回の留学を通して一番感じたのは、「そこに住む人々」でした。中国の人達はとても温かく、話すのが好きなようです。ムスっとした顔の人でも話しかければ、積極的に答えてくれます。そして自分の人生を精一杯生きていること、自分の人生に誇りを持っていることを感じました。(経済学科3年)

2000年11月10日我的生日晚会在青島

福田 聡



この1年間私が各国の外国人留学生との交流で最も印象深いのが自分自身の誕生日パーティーである。実はこの日私以外にも同じ誕生日のドイツ人の友達が3人もいて、一緒にパーティーを行う事となった。同じ誕生日の人が3人もいるとは、神が与えた奇跡ではないか？と一人でビックリしていた。

さて夜の8時に始まったこのパーティー、いきなり最初からヒートアップしていた。欧米人がその火付け役だが、彼らのテンションの高さは正に「真棒！」である。私も負けじと彼らと共にダンスをしたり、語り合ったりした。中国語と片言の英語で。時間が経つにつれ、私はここにはもはや国境など無い！と実感した。とにかく皆楽しい顔で踊り、飲んでいたので。このパーティーが終わらないで、ずっとずっと続け！と何度思った事だろう。結局パーティーは夜中の3時過ぎまで続いた。もう、楽しい！その一言に尽きた。

そして現在パーティーを共に過ごした仲間は、ある者は仕事を始め、ある者は留学継続中である。私はと言えば、大学3年でこれから就職活動が始まる。今は中国関連の仕事をしたと考えている。そしていつか彼らと中国でひょっこり再会できる日を楽しみにしたい。その時は中国語は勿論、英語も今より話せる様になっておなくては。

そして最後に今回の留学を許可してくれた両親、留学直前までお世話になりっぱなしだった山田先生、そして青島という街に感謝の意を表します。謝謝！(経済学科3年)



赴任にあたっての抱負

中嶋 健

秋学期から「スポーツ実践」、「健康科学」を主に担当します中嶋健です。前任は、同じ下関にある水産大学校でした。生まれは京都市で、水産大学校に赴任するまではつくば市に大学生時代を含め15年おり、ここ下関市には7年目になります。下関の良い所も悪い所もそろそろわかってきたかなというところです。本学には、平成7年以来非常勤講師として「スポーツ実践」を担当してきましたが、昨年度には教養講義科目の「健康」を、そして本年度春学期には「健康科学」を担当することになり、「スポーツ実践」とはまた違った本学学生に対する印象や反応を得ることができました。

「健康」であることは当然良いことであり、皆そうあることを望むわけですが、この「健康」概念が画一的になったときの問題を考えなければならないと私は思っています。そして、私の専門研究分野であるスポーツ科学の理論と実践は、この人々の健康の実現にむけて結合されなければならないと思っています。そして、スポーツの実践とこの知的遺産やスポーツに関わる研究成果を教授することを通じて、教える側も学ぶ側も共に自立した判断者として生きる意志を持ち成長し続けることを私の赴任にあたっての抱負したいと思います。以後、よろしくお願いいたします。

実り多き学術の旅

楊 永志

秋は実りの季節であり、収穫の季節であるといわれる。まさにその通りに、9月末には私はずっしりと重い収穫と市大での多くの素晴らしい思い出を手に帰国する。

下関市立大学での研修は長年の願望であった。青島大学で法律学の教育と研究に従事する中で、しばしば日本語の法律資料を調べることがあったが、日本の政治・法律の状況についてよく知らないために、多くの内容が理解できず、研究上の困難が生じていた。市大での研修によって日本の政治・経済・文化に対して多方面の理解が得られたのみならず、日本の法律に対する理解と認識も深まった。さらに貴重であったのは、市大の先生方とともに学術上の問題を討議し、学問に対する厳しい姿勢を学んだことで、こうした経験はみな、今後、法律領域の学術に従事する上で大いに役立つものである。

1年の期間は短かったが、この1年の仕事と研究生活は大変充実していた。この間、市大の多くの先生方と真の友情を結び、別れるのはまことに忍び難い。また多くの教職員の方々から仕事・生活に多大な援助を賜ったことに、心からお礼申し上げる。

青島大学から市大にきた教員は、みな両校の関係を結ぶ掛け橋である。その中の一員として、私はこれから両校の友好関係の発展にできるかぎり積極的に貢献したい。

(2001年8月記)
(青島大学法学院副教授)

ベンチャービジネス論開講について

佐々 由宇

国際商学科は、今年度秋学期に国際商学特講の枠を利用して、ベンチャービジネス論を開講します。これは、山口県商工労働部新産業課とやまぐち産業振興財団の支援によるもので、県内では山口大学と徳山大学について3番目のものです。

国内産業の空洞化対策更には雇用吸収の受け皿として新たなベンチャービジネス創出への期待が高まっているのは周知の通りですが、山口県もこれに政策的に強く支援してきています。本学の学生の中にも他の大学に聴講にでかけたり、現にベンチャーに携わっている学生もいると聞いています。全体としてどの程度のニーズがあるのかは蓋を開けてみないとわかりませんが、まことに時宜を得たテーマだと思っています。

形式的には複数の講師による12回のリレー方式で進めていきますが、テーマと講師の選定については県ときめ細かく相談しながら決めました。講師陣は県内外の大学関係者だけでなく現に活躍されている実務家を含め多彩です。

この講義は公開講座として開講されますので、社会人の出席も多数見込まれますが、本学学生も現在のビジネストレンドを理解するためにも、また、自らの就職活動の参考にするためにも大いに有益だと思いますので、多数の学生の受講を期待しています。

(商学総論担当教授)

第32回E.S.S.スピーチコンテスト

E.S.S.藤田 恵子

長い伝説を誇る本学E.S.S.主催のスピーチコンテストを6月23日に開催しました。32回目を迎えた今年は早稲田、慶應、大阪大など関東、関西、九州地区から12人の出場がありました。大会は第一部の『自由テーマの発表』と第二部『即興スピーチ』に分かれて行われ、出場者は、第一部では社会問題や異文化交流などを論じ、第二部では与えられた主題をもとに演説を行いました。いずれもレベルの高いスピーチが展開され、接戦の中、次の5名が入賞し、下関市長杯、市大学長杯、E.S.S.賞を獲得しました。

優勝	福島 春名	関西学院大学	2年
準優勝	近藤 明子	関西学院大学	2年
第3位	角田知栄子	早稲田大学	3年
第4位	細居 久敏	関西大学	3年
第5位	田中 聡	慶應大学	3年

なお本学からは山内雪絵さんが出場し、ジェスチャーを交え人間の愛情について個性あふれるスピーチを披露しましたが、惜しくも入賞は果たせませんでした。

(国際商学科3年)

九星会弁論大会に優勝して

岡 雅之

今回は私にとって「公式な弁論大会で初めて自分の文章を伝える」という弁論大会でした。そのため、非常に緊張したのを覚えています。しかし、出場前に山田先生から「肩慣らしのつもりでやってきなさい」という一言を頂き、壇上に登ってからは比較的、周りを見る余裕がありました。



また、出場前に何度も練習を繰り返したことも自信に繋がったと思います。

弁論大会に出場してなにより成果だと思ったのは実は賞を獲得できたことではありません。当然嬉しいのですが、私が「やって良かったな」と思えたことは、弁論発表中、審査員の先生方が私の言葉を聞いて何度も頷いてくれたことです。

自分が口から出ることが「通じたんだ」という喜びは日常では到底味わうことはできません。しかも外国語で、自分の言いたいことを文章にした弁論ともなると、話は全く違ってきます。皆さんもこの感動を味わうために弁論やその他のことに「挑戦」してみてもどうでしょうか。

(経済学科3年)

成柄卓東義大名教授が「教養総合」で講義



本学の姉妹協定校である東義大学校の成柄卓東義大名教授が「教養総合H(教養の旅—日本と世界を歩く)」の講義のために、6月11日、本学を訪れた。「教養総合」はこれまでも多くの学外の講師を招いて授業を行っているが、海外からの招聘は珍しく、下山学長の尽力で実現した。

成氏は「日本と比べて見る韓国の経済・社会の様相」のテーマで、日本と韓国の経済・社会を日本語で講義し、多数の市民を含む受講生からは「具体的にわかりやすかった」と好評だった。

東義大学校事務局職員が来学

東義大学校の事務局職員が8月8日に来学された。

一行は金総務課長以下各部署の担当者7名で、今回は東義大学校と姉妹協定を結んでいる別府大学を訪問した後本学に来学された。本学からは正村事務局長をはじめ事務局職員が歓迎したが、交歓のほかに教職員の人事関係を中心に約1時間の質問などがあった。東義大学校は私立の総合大学、本学は公立の単科大学と形態が大きく異なるため、お互いに多少とまどうこともあったが、終始和やかな雰囲気であった。大学構内の視察の後、正村事務局長が「今後とも良好な友好関係を続けたい」と挨拶し、金課長からは歓迎に感謝されるとともに「韓国にお越しの節には東義大学校にも是非お立ち寄り下さい」との挨拶があった。

交通安全講習会に参加を！

(学生部より)

これまで本紙でも死傷に及んだ交通事故を相次いで報告してきました。そのような痛ましい報告を、残念ながらなかなか断ち切れないでいます。

5月11日に本学の留学生の乗用車が福岡市内でタクシーの追突を受け、車は大破、むち打ち症で1ヶ月ほどの通院を余儀なくされる事故に、6月16日バイクで彦島の自宅に帰宅途中の4年の男子学生が普通乗用車の接触を受け、溝に落ちて3日間入院する怪我を負い、さらに、6月19日には、自転車でバイト先に行く途中の留学生が、急に左折した普通乗用車に巻き込まれて打撲、10日ほど入院するという事故に遭っています。いずれも被害事故ですが、学業生活に支障をきたしそれぞれ苦悩を強いられています。

6月25日に、東重大学で開かれた「下関市内大学交通問題懇話会」に学生部の坂本と下田が参加しました。警察の報告によると、昨年度中の市内の学生による人身事故は56件に昇り、高齢者の被害事故に次いで、若者によるスピードの出しすぎや遊び途中の不注意による事故が最近目立っているそうです。学生による交通事故や違反が増える傾向にあって、何とか歯止めをかけたいと、交通安全のための講習会や指導等を試みっていますが、各大学とも、対策に腐心している様子でした。

本学では、下記の要領で「交通安全講習会」(今年2回目)を開催します。バイクも含めて車を利用する学生はぜひとも参加して、安全運転を心がけて欲しいと思っています。

◎交通安全講習会(受講が駐車許可証受領の条件です)

・日時:2001年10月17日(水)16:30~17:30

・場所:A講義棟 111教室

※交通安全ビデオの上映を交えて、下関警察署交通課職員による安全指導の講演があります。

喫煙の害を考えたことがありますか

小林 英治

男子53.5%、女子13.7%—これはわが国成人中の喫煙者の割合です(1999年)。日本の喫煙者率は年々低下の傾向を示しているとはいえ、依然として世界最高の部類に属します。喫煙のもたらす害への認識が深まり喫煙者が激減する国が多いなか、なんと不名誉なことでしょう。

いま世界の先進地域のほとんどでは、公共の場所での喫煙は完全に禁じられ(分煙の徹底)、違反者には刑罰が科されます。たばこの販売は制限され、未成年者を含めて誰でも買える自販機が街なかに氾濫している国はありません。たばこの箱を見てください。「吸いすぎに注意しましょう」がJTの表示であるのに対して、アメリカのたばこには“Smoking can kill you”(喫煙は命取り)や“Tobacco smoke can harm your children”(たばこの煙は子どもたちに害)などのすごい文句が並んでいます。

学生諸君、喫煙はあなた自身の健康を害するだけでなく、周囲のものたち、とくに小さい子どもたちに深刻な影響を及ぼします。そして女性の場合には妊娠・出産・育児にも致命的な影響をもたらすことを忘れてはなりません。若いうちにきっぱりとやめることが大切です。もし悩んでいるのでしたら、私の研究室に来てください。お茶を飲みながらじっくり考えましょう。

(開発経済実践担当教授)

第40回馬関祭について

今年も大学祭の季節になりました。今年は11/1(木)～11/4(日)の日程で実施すべく準備しています。

さて、今年はテーマを「re—birth」としています。第40回という節目であり、21世紀最初の大学祭を迎える我が下関市立大学を「再生」させて、下関に活気を取り戻そうという意を込めています。21世紀に更なる進化を遂げる下関市立大学の馬関祭に、皆様お誘い合わせの上お越し下さい。たくさんの方々がいらっしやることを心からお待ちしております。

—大学祭日程—

- ・11月1日(木) 前夜祭、ふく鍋
- ・11月2日(金) 演武会
- ・11月3日(土) パパイヤ鈴木とおやじダンスコンサート
- ・11月4日(日) 輪島功一講演会

同窓会総会「長崎の集い」開催



従来、全国各地の支部で行われていました同窓会総会が、昨年から下関市立大学同窓会総会として、引き受けの支部の総会と兼ねて開催されることになっています。昨年の名古屋支部に引き続き、本年は長崎支部が引き受け、「長崎の集い」と銘打って7月14日に長崎グランドホテルで盛大に開催されました。

当日は九州各地はもとより、中国、関西、中部さらに東京からの参加もあり、85人の参加者が集まりました。

本学からは坂本学生部長、高山事務局次長が出席し、坂本学生部長から大学の現状や課題などを説明し、同窓会のさらなる充実を願い、より一層の協力をお願いしました。また、育英会奨学金の返還率が低くなると、本学への奨学生の割り当て数が少なくなることも伝えました。

総会では、少子化や大学の独立法人化など大学を取り巻く環境の変化に不安の声も聞かれましたが、本学の取り組みに期待し、市当局とも協力し合っの発展・充実を願う声が上がっていました。

また、アトラクションとして、地元十善寺龍踊会による蛇踊りが披露され、アンコールを意味する「もってこーい」のかけ声が何度も上がるなど長崎らしい雰囲気の中で大いに盛り上がり、長崎支部の皆さんの巧みなお世話ぶりが際立っていました。

最後に、来年を引き受ける東京支部への引継が行われ、東京支部の皆さんから、「来年は7月6日に開催予定なので、ぜひ東京へお越し下さい。」との挨拶がありました。

なお、下関市立大学同窓会は、現在会員11,847名、1本部15支部です。

第48回関北インカレ春季大会結果報告

北九州・下関地区の19大学が参加し、17競技で熱戦を繰り広げた、第48回北九州・下関地区大学体育大会(通称、関北インカレ)春季大会の成績は次のようになりました。

今年度は、西南女学院大学・西南女学院短期大学が当番大学となり大会運営等大変お世話になりました。

秋季大会は10月下旬より開催されますので、高一層の活躍を期待しております。

競技種目	成 績	競技種目	成 績
1 水泳競技	—	8 滑艇競技	—
2 硬式野球	—	9 陸上競技	3 位
3 準硬式野球	2 回戦敗退	10 バドミントン	男団 初戦敗退 女団 ベスト4
4 硬式庭球	男団 初戦敗退 女団 3 位	11 バスケットボール	初戦敗退
	男団 4 位	12 ラグビー	初戦敗退
5 ソフトテニス	男団 2 位 女団 1 位	13 サッカー	1 位
6 卓 球	男団 1 位 女団 2 位	14 空 手 道	予戦敗退
7 バレーボール	男団 3 位決定戦敗退	15 剣 道	予戦敗退
		16 柔 道	男団 予戦敗退
		17 弓 道	男団 6 位

教職員異動一覧

新任教員

氏 名	担当科目	前 任	着任年月日
中嶋 健助教授	健康科学 スポーツ実践	本学大学校	13.10.1

異動教員

氏 名	担当科目	異動先	異動年月日
楊 永志 研究員	中国語	青島大学	13.9.30

退職教員

氏 名	退 職 理 由	退職年月日
松原一泰 教授	定 年	13.6.1

行事記録(2001年6月～8月)

- 6月1日(金) 開学記念日
- 2日(土) 大学院学会設立総会
- 3日(日) 後援会総会
- 21日(木) 公務員ガイダンス
大学入試説明会
- 7月9日(月) 春学期(前期)試験時間割発表
- 14日(土) 夏季集中講義
- 16日(月) 夏季休業開始 8/31まで
春学期集中講義 8/31まで
- 18日(水) 山口県大学図書館協議会総会
- 27日(金) 関門共同研究会報告会
- 8月4日(土) 大学院入試説明会・研究発表会
- 8日(水) 東義大学校事務職員来学
- 11日(土) オープンキャンパス2001

お詫びと訂正

前号(34号)8頁の記事で、ローレンソン常勤嘱託講師の前任校をグリフィス大学としたのはクィーンズランド大学の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

編集後記

広報35号をお届けする。執筆者各位に感謝したい。広報委員会では先に大学案内2002年版を作成したが、今号1面のカリキュラム改革の記事はそれを補うものである。大学案内と併せて活用いただければ幸いです。(谷口)